

日本語のアクセントを楽しく教えるー「ま」を使ってー

長嶺 孝子

リースタル高校、ミュンヘンシュタイン高校、ボイムリホーフ高校

要旨

本発表では日本語のアクセントを短時間（15分ほど）で楽しく学び、アクセント記号のある辞書『新明解国語辞書』（三省堂）を使って自立学習につなげる方法を紹介する。2005年からスイスの高校生を対象に行っているがすこぶる好評である。カタカナ、ひらがな学習が終わり教科書をはじめる直前（週3時間の授業で学習開始から5週目）に導入している。さらにこの方法で学んだアクセント番号がついた単語表を紹介する。なおこの発表では「日本語のアクセントを楽しく教える」とあるが厳密には日本語の単語のアクセントであって、日本語の文全体のイントネーションではないことを断っておく。

【キーワード】 単語のアクセント、自立学習、アクセント番号がついた単語表、アクセントの型一覧

1 はじめに

日本語には高低のアクセントがある。この高低アクセントという他言語とは際違った相違のある言語にもかかわらず現在までアクセントに関する教え方が確立されていない。まさに「教師が日本語のアクセントを教えない→学習者が日本語アクセントについて知らない→その学習者が教師になったときに、アクセントについて教えられない→学習者が日本語アクセントについて知らない、という悪循環」（磯村、2009）が続いてきた。数ある日本語学習教材においても単語にアクセント記号のついた単語表は皆無である。学習者は何を頼りに単語のアクセントを学べばよいのだろうか。「これまで教科書や辞書にアクセントの記号がなかったために、アクセントに気づかず、上級になってから非常に苦労したり、学びたいけれどあきらめてしまったりする学習者が世界にたくさんいるという事実」（磯村、2009）なのである。この楽しく短時間で教えられる方法を多くの教師に使っていただきたい。

1.1 教える手順

1.1.2 必需品

フォリオ三枚、ハンドアウト一枚使用。使用機材はOHP

1.1.3 導入

中国語の四声を図1と「ま」を使って紹介する。妈麻马罵の四声を紹介して妈妈麻子马罵了（母はあばた馬を叱る）を言い四声によって意味が異なることを伝える。ただし中国語は音節の中で高低があり日本語とは違うことをはっきりさせる。中国語を教えることが目的ではないのでここではさらりと流す。

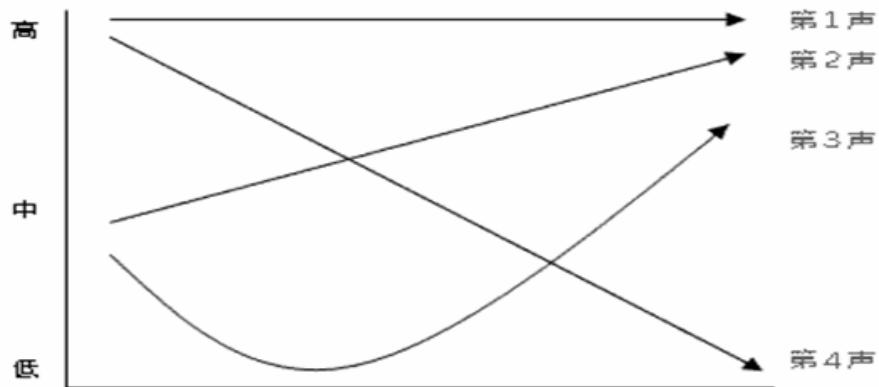


図1. 中国語の4つの声調

1.1.4 練習

図2を使って発音するがその前に次の規則を三つ明示する。

1. 「一」と「」の違いはその後に続く助詞の「は」の高さである。
2. 第一音節と第二音節は同一の高さではない。つまり第一が高ければ、第二は低くなり、逆に第一が低ければ、第二は高くなる。
3. 一度低くなった音節は再び上がらない。
一音節ずつ、はじめは赤字（ここではイタリック体）の「は」無しで始める。音節ごとに「は」無し、「は」付きを繰り返す。中程から教師の指示無しでも学生は読み出す。

1.1.5 確認

記号なしの表(ハンドアウト)を与えて教師の発音を聞きながら記号をつけさせる。

1.	<i>まは</i>	<i>まは</i>				
2.	<i>ままは</i>	<i>ままは</i>	<i>ままは</i>			
3.	<i>まままは</i>	<i>まままは</i>	<i>まままは</i>	<i>まままは</i>		
4.	<i>まままは</i>	<i>まままは</i>	<i>まままは</i>	<i>まままは</i>	<i>まままは</i>	
5.	<i>ままままは</i>	<i>ままままは</i>	<i>ままままは</i>	<i>ままままは</i>	<i>ままままは</i>	<i>ままままは</i>
	①	①	②	③	④	⑤

図2. 日本語のアクセント

この時点で下の番号の意味に気がつく生徒もいる。気がつかない時は説明をする。生教材として明解の辞書を見せてもいい。また発音に興味を持つ生徒が多い場合次の規則を補足する。

1. 疑問詞はかならず高で始まる。例: だれ、どこ、いくら
2. 複合語になると高低が変わる場合がある。その理由は上の説明の3. に依るものである。

例: もも肉、名古屋 名古屋弁

2. アクセント番号がついた単語表

Japanisch im Sauteschritt 1 の単語表

Lektion 9 (第九課)

かな	発音	ドイツ語	漢字
かんりにん	①		管理人
よ			
スーパー	①		
となり、よこ	①、①		隣、横
ポスト	①		
から			
わかります (わかる)	④		分かります(分かる)
たてもの	②		建物
たくさん	④		
ここ、そこ、あそこ、どこ	①①①①		
5にん、～にん	①		五人、～人
タクシーのりば、バスのりば	⑤③		タクシー乗り場
のりば	①		乗り場
ひとり、ふたり、～にん	②③①		一人、二人、～人
いくつ	①		幾つ
なんまい、なんぼん	①①		何枚、何本
きっぷうりば	④		切符売り場
いりぐち、でぐち	①①		入り口、出口
びょういん	①		病院
くすりや、ほんや	①①		薬屋、本屋
にくや、さかなや、パンや	②①①		肉屋、魚屋、パン屋
やおや(やさい)	①①		八百屋(野菜)
めがね、かばん	①①		眼鏡、鞆
へや、ガレージ	①①		部屋
かいさつぐち	④		改札口
こうばん	①		交番
やすみ	①		休み
どうして	①		
ひこうき	①		飛行機

3 おわりに

他の教師から「広島」、「長崎」の発音を聞かれることがあるが、この「ま」と数字を使ってそれぞれ 4-①、4-②だと説明できる。ほかに「三菱」「俳句」なども 4-②、3-①であると簡単にいえる。単語表にも必ずこの番号を付けている。生徒は自立して発音アクセントが学べる。この方法を今後広めたい。

<参考文献>

- 戸田貴子 (2004) 「コミュニケーションのための日本語発音レッスン」 東京スリーエーネットワーク
- 磯村一弘 (2009) 「音声を教える」 国際交流基金、日本語教授法シリーズ第 2 卷
- 『新明解国語辞書』 (1989) 三省堂
- 『NHK 日本語発音アクセント辞典』 (1998) NHK 放送文化研究所 日本放送協会放送文化研究所
- 『新明解日本語アクセント辞典』 (2001) 三省堂